東芝産業機器システム株式会社　健康経営戦略マップ

2024年4月1日

健康投資

様々な効果に関連する健康投資

- 各種健診
- 各種サーベイ
- 健康施策、イベント、セミナーの実施
- 福利厚生
- 健康保険組合との協働施策（健康関連データ分析/健康イベントの実施）

実施事項

- 定期健康診断
- 生活習慣病健診・がん検診
- 保健指導・特定保健指導
- ストレスチェック実施
- TEAMサーベイ　（※２）
- メンタルヘルス教育
- 相談窓口の開設
- 復職支援プログラム
- 女性の健康セミナー
- 禁煙、アルコールセミナー
- 睡眠セミナー
- ウォーキングイベント
- すきま時間体操
- 測定イベント
- PepUp導入
- ライフサポート休暇
- あいさつ運動TIPSmile！
- １on１ミーティング
- 選択型福利厚生制度

健康投資効果

健康投資施策の取組状況に関する指標

- 定期健康診断結果及び特定保健指導実施率
- ストレスチェックとチームサーベイのクロス分析結果
- 高ストレス者率
- 生活習慣KPI（喫煙、食事、飲酒、運動、睡眠）
- 精密検査受診率
- セミナー参加率、満足度
- イベント参加率
- 施策後のアンケート結果
- 所定外労働時間／勤務間インターバル
- 休暇取得日数
- 男女育休取得率日数

従業員の意識変容・行動変容に関する指標

心身の健康増進「Work Life Harmony」推進

- メンタルヘルスセルフケアの向上
- 健康的な生活習慣行動の増加
- メタボ該当者・予備軍の減少
- 要精密検査受診率の向上
- 個々のヘルスリテラシーの向上

組織活性化「言える化と聴く力の向上」（心理的安全性の高い職場づくり）

- 職場コミュニケーションの活性化
- メンタル休職者の減少
- 長時間労働の管理
- 同僚の支援、上司の支援
- 多様性推進／ハラスメント撲滅
- 離職率の低下
- 成長の機会提供（キャリア支援）

健康管理の最終目標

プレゼンティーズムの低減
心身の不調を抱えながら出勤し、生産性が低下している状態の減少

アブセンティーズムの低減
脳・心疾患の休職、メンタル休職による生産性損失の減少

ワークエンゲイジメントの向上
仕事に対して「熱意・没頭・活力」の３つが満たされ、いきいきと働いている心理状態の向上

健康経営で解決したい課題

企業価値向上の実現

ありたい姿
TIPSビジョン2030
今よりもっと安全・安心で豊かな社会を実現し、家族や友人に誇れる会社となる（※１）

従業員の安全と心身の健康を最重要課題に位置づけ、いきいきとした活気ある人と組織づくりによる、「安全健康経営」を推進

従業員を含む事業に関わる全ての人の幸福（ウェルビーイング）

お客様と社会への貢献

※１　TIPS＝社名の略称
（Toshiba Industrial Products and Systems Corporation）
※２　TEAMサーベイ＝Toshiba Employee Activity and Morale Survey